

つちうらい

2013年度マスタープラン策定実習 第5班

班長 安達 修平 金 祥生
副班長 吉田 太郎 柳澤 直哉 TA 吉田崇紘

「いろが輝くまち」

それぞれのいろを持ち合わせ
つなげることで
生き生きと輝くまちへ



5つのプラン



土浦市が持っている魅力「色」を持ち合わせ繋げることで、いきいきと「輝くまち」にするという意味が込め「いろが輝くまち」と設定する。この将来像を支えるため6個の地区別構想と7個の部門別構想を設定、そして、この地区別構想と部門別構想を実現する為の具体的な手段として私たちは5つのプランを策定する。

地区別構想と部門別構想を絵の具に、5つのプランを筆に、土浦市をキャンパスに見立てることで、土浦市に色を加えていく。

ダイレクトラインプラン

神立駅南側から県道354号
おおつ野ヒルズ団地信号まで道路を新設



おおつ野ヒルズに住む
方々に、新しくなる神立駅
の利用を促す！

まちとまちを
つなぎ合わせ
更なる発展を

アグリゲートプラン

「小町の里」への玄関口となる朝日トンネル入口付近に
たちより小町を設置し、周辺と一体となった観光スポットをつくる



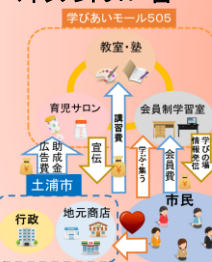
たちより小町を発信
小町の館を体験
の場としてすみわける

自然・歴史を
発信し、体験する
観光スポットへ

学びあいモール505プラン

家庭・学校・会社に次ぐ、「次世代の新しい学びの場」の創出

マネジメントフロー図

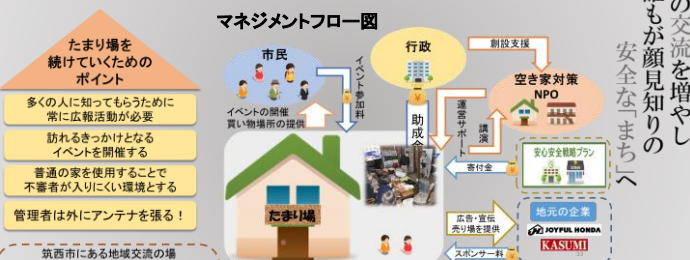


日中は主婦層
夜間は会社員・学生などの若年層を
ターゲットにした学びの場

家庭・学校・会社に次ぐ、
次世代の人々が
共に学びあう空間

みんな顔見知りプラン

空き家を地域交流の場にし、みんなが顔見知りのまちへ



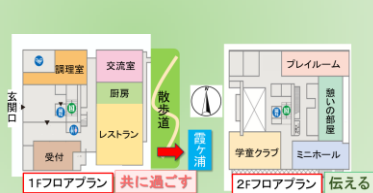
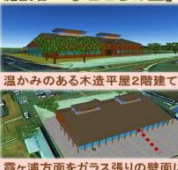
空き家を活用
かつ

住民の交流の機会をつくり防犯意識向上

まごころの丘プラン

周辺住民の世代間交流
入院生活に励みを与える家族との憩いの場の創出

施設名「まごころの丘」



市役所跡地を
1階を周辺医療施設患者と家族の憩いの場
2階を世代間交流の場の交流施設にする

立地をいかし
賑わいと交流を
創出する